



# マイタウン・マイドクター

保存版

**大腸がんで死なないために 教えてください。**

大腸がんは近年、急激に増加しているがんの一つで、死亡者数は年間5万人にも及びます。消化器がんの中には、膵臓がんなど5年生存率が低い難治がんもありますが、大腸がんは早期に発見できれば、完治も見込めるがんです。では、どうしてこんなに死亡率が高いのでしょうか？それは、早期がんの多くは無症状で、血便などの症状が出て受診した時には、すでにがんが小さくないからです。手遅れにならないために何よりも重要なのは、「症状がないうち」にがんを見つけることです。

**早期発見できますか？**

何も自覚症状がなくても定期的に検査を受けることで、言い換えれば、検査を受けない限り大腸がんを早期に見つけることはできません。検査の中で最も診断精度の高いものは「大腸内視鏡検査（大腸カメラ）」です。臓器の中を見ながら行う検査なので、病変の見落としのリスクが低く、疑わしい病変が見つかれば、そのまま大きな手術が避けられ、一定の頻度でがん化の恐れのあるポリープの切除も可能で、検査・診断・治療・予防を兼ね備えた優れた検査法といえます。

**大腸カメラは痛い、辛いというイメージがあるのですが、**

前提として大腸カメラは技術習得が難しく、医師の経験と技量の差が出やすい分野です。病変の発見には確かな知識と実践に基づく観察力が必要です。また、患者さんの苦痛を可能な限り軽減するには高度な内視鏡挿入技術と丁寧なケアが不可欠です。熟練した医師であれば痛みや不快感をほとんど感じさせません。挿入と検査で特に異常がなければ10分程度で終わります。また、鎮静剤や鎮痛剤を用いて患者さんが眠っているうちに検査を終わらせる、より苦痛を少なくする方法も行われています。

**検査を受ける時期、間隔などアドバイスをお願いします。**

日本では、大腸がん検診の受診率や、検診で精密検査が必要とされた人の二次検査の受診率はいまだに低く、死亡率を増やし続けています。その中でも、残念ながら札幌は全国的に低い都市となっています。定期的な検査こそが、大腸がんで死なないための最も有効な手段であることをどうも忘れてはいけません。

**切らずに治す、いぼ痔の最新治療 教えてください。**

痔はいぼ痔、切れ痔、痔ろうの3つに大きく分けられますが、最も多いのは、肛門の内側がうっ血し、いぼのようには膨らんだいぼ痔です。いぼ痔は主に、排便時に強いいきむなどして肛門内側の血流が悪くなるのが原因で起ります。初期の段階では、塗り薬や座薬で症状を抑えたり、生活習慣を見直して便秘や下痢を解消したり、おしりを清潔にししたりすることで改善が見込めます。ただ、いぼ痔は進行すると、出血を繰り返したり、肛門の外に出してしまう脱肛を起しやすくなります。こういった症状が出ると、より専門的な治療が必要で、切らずに治す注射療法と、外科手術があります。

**切らずに治せるのですね。**

「ALTA（アルタ）四段階注射療法」といいます。薬剤を病変に直接注射していぼを小さくする方法で、メスを入れないため治療後の痛みや出血が少なく、多くのケースが日帰りで治療可能ですが、患者さんの心身の負担が外科手術に比べて軽く、副作用や合併症の危険もほとんどない優れた治療法です。ただし、適切な治療には高度な知識や技術が要求されるため、施行には厳しい資格審査が設けられており、どの医療機関でも受けられる治療ではありません。いぼが大きすぎる場合など、ALTA（アルタ）四段階注射療法では改善できない症例では、外科手術での切除を検討します。外科手術も新しい術式が登場し、治療の幅は広がっています。

**痔の予防法はありますか？**

排便習慣の改善が一番の予防となります。最も重要なのは、排便時に強く、長く、いきまないこと。おしりに負担をかけない排便は、まず便意が起ってからトイレに行き、さほどがんばらなくても力んだりせず、5秒くらいかけて自然に（勝手に）便が出る、そんなイメージです。肛門から出血した場合、大腸からの出血も疑われます。ただの痔だと思わずに、大腸がんが見つかったというケースは決して珍しくありません。また、潰瘍性大腸炎やクローン病が見つかるケースも増えてきています。このように、おしりの出血の後ろには、痔以外にもいろいろな病気が隠れていることがありますので、大腸カメラの受診が望まれます。大切なことは、自分で判断しないこと。排便時に異常や違和感があれば、迷わず受診してください。

**おしりの病気で最も多い いぼ痔**

国立がん研究センターの調査によると、2020年は大腸がんになる人の数はすべてのがんの中でトップを占めています。また、がんによる死亡者数の予測では大腸がんは女性で1位、男性で肺がんに次いで2位と公表されています。大腸がんは早期に発見し、適切な治療を受ければ治癒される可能性が高い「治せるがん」です。それだけに早期発見・治療の大切さが叫ばれています。

**がんでも多い 大腸がん**

一方、痔（じ）は日本人の3人に1人が罹患しているといわれます。しかし、「おしりの治療は恥ずかしい」と放置するケースも少なくありません。また、肛門からの出血で検査し、大腸がんが見つかるケースも少なくありません。大腸がんの特徴や内視鏡検査の重要性、苦痛の少ない検査法、痔の最新治療と予防法などについて、長年、消化器・大腸肛門内視鏡の検査・治療に力を注いできたさっぽろ駅前内科・内視鏡クリニックの近間威彦院長にお話を伺いました。

**さっぽろ駅前内科・内視鏡クリニック 近間 威彦院長**

1995年旭川医科大学卒業、同第2外科入局。旭川厚生病院、市立札幌病院、創路市医師会病院、旭川医科大学付属病院、若小牧日曜病院、かりゆし病院（石垣島）、さくら病院（愛知県）、MIWA内科胃腸科CLINIC（愛知県）などを経て、2017年5月さっぽろ駅前内科・内視鏡クリニックを開設



座薬で症状を抑えたり、生活習慣を見直して便秘や下痢を解消したり、おしりを清潔にししたりすることで改善が見込めます。ただ、いぼ痔は進行すると、出血を繰り返したり、肛門の外に出してしまう脱肛を起しやすくなります。こういった症状が出ると、より専門的な治療が必要で、切らずに治す注射療法と、外科手術があります。

排便習慣の改善が一番の予防となります。最も重要なのは、排便時に強く、長く、いきまないこと。おしりに負担をかけない排便は、まず便意が起ってからトイレに行き、さほどがんばらなくても力んだりせず、5秒くらいかけて自然に（勝手に）便が出る、そんなイメージです。肛門から出血した場合、大腸からの出血も疑われます。ただの痔だと思わずに、大腸がんが見つかったというケースは決して珍しくありません。また、潰瘍性大腸炎やクローン病が見つかるケースも増えてきています。このように、おしりの出血の後ろには、痔以外にもいろいろな病気が隠れていることがありますので、大腸カメラの受診が望まれます。大切なことは、自分で判断しないこと。排便時に異常や違和感があれば、迷わず受診してください。

管理者：近間 威彦 診療科目：内科・消化器内科

## 8 医療法人社団 イーライン矯正歯科

西区琴似3条1丁目1-20コトニ3・1ビル2階 ☎(011) 640-3333  
http://www.esthetic-line.com

**矯正治療は、自信に満ちた笑顔と積極的な気持ちを応援することと考えています。**

すべての患者さんがすてきな笑顔になるため、日々研鑽を積み、最新・最良の治療法でお応えできるよう心がけています。矯正治療の目的は、単に歯並びをきれいにすることだけではありません。「機能美」という言葉があるように、噛むということがきちんと機能して初めて本当に美しい咬み合わせといえるのです。美しい（正しい）咬み合わせは、虫歯や歯周病になりづらくすることは勿論ですが、多くのメリットをもたらします。咬み合わせが口腔の老化、全身の老化に与える影響は大きいのです。見た目の美しさだけでなく、身体の機能の回復を目指すのが矯正治療です。「今からでは遅いのでは？」とおっしゃる方も多くいますが、治療始めるのに遅すぎることはありません。以前も増して、成人の方やご年配の方が矯正を始められるケースが増えていきます。当院では、矯正治療について、どんな小さなことでも随時相談を受け付けております。お気軽にご相談ください。

●受付時間

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~12:00	●	●	●	—	●	●	●
14:00~18:30	●	●	●	—	●	●	—
14:00~17:00	—	—	—	—	—	—	●

※水曜・日曜は隔週で休診となります。詳しくはお問い合わせ下さい。  
●矯正一部の外科矯正を除き、基本的に全て保険外の治療となります。(5万円~85万円)  
●お待たせする時間を少しでも短くするために、事前にお電話ご予約をお勧めいたします。

院長 上野拓郎 歯学博士  
1986年 北海道大学歯学部卒業



## 9 札幌駅前樽見おしりとおなかのクリニック

中央区北4条西3丁目1 札幌駅前合同ビル9階 (1階が北海道銀行のビルです)  
☎(011)209-2241 肛門外科・内視鏡外科 http://tarumi-k-cl.com

**当クリニックでは、常に痔の治療方法を研鑽し、適正・確実・最新の医療技術を患者様に提供していくことを意識していきます。**

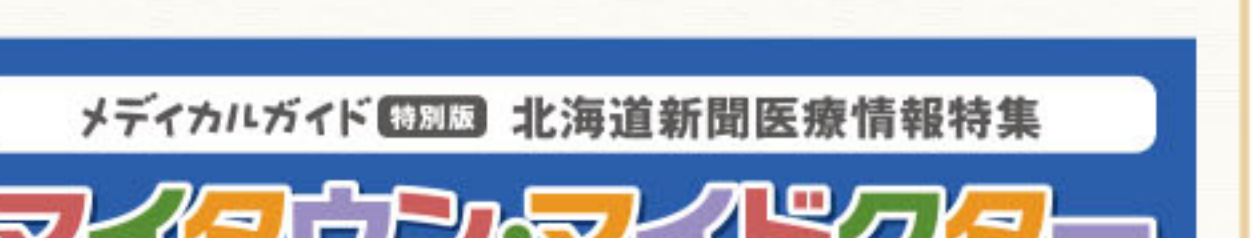
痔は日本人に多い疾患ですが、恥ずかしいとか、忙しくて暇がないなどの理由から受診をためらっている方も多くいます。そのため交通の便が良く患者様を受診しやすいように、札幌駅前には痔と大腸を中心とした消化器専門のクリニックを開院させて頂きました。当クリニックでは自分のこれまでの知識、経験、技術から得た診療理念のもと、専門性の高い医療を提供し、全道の痔で悩む患者様のニーズに合った診療、検査、日帰り手術を行っていきたく思っております。

入院不要の治療・検査

痔の日帰り手術	いぼ痔の日帰り注射療法(ALTA注射)
（いぼ痔・切れ痔・痔瘻の手術）	（お尻に内痔核を治す）
胃・大腸内視鏡検査 （胃がん・大腸がんの早期発見） 日帰り胃・大腸カメラの同時施行も可能	大腸ポリープの 日帰りポリープ切除 （ポリープは内視鏡で切除）
胃ピロリ菌検査・治療 （胃がんの原因のピロリ菌）	※重症で入院手術が必要な場合は、連携病院にて院長が手術することも可能です。

診療時間 月 火 水 木 金 土 日  
9:00~12:00 ● ● ● ● ● ● ●  
15:30~17:00 ● ● ● ● ● ● ●  
休診日/水曜日・祝日・学会日

院長 樽見 研 医学博士  
日本大腸肛門病学会認定大腸肛門専門医  
日本外科学会認定外科専門医  
平成3年 札幌医科大学卒業  
平成11年 札幌いしやま病院副院長  
平成16年 札幌いしやまクリニック院長兼主任  
平成28年 札幌駅前樽見おしりとおなかのクリニック院長



北海道新聞 毎週水曜日夕刊掲載

メディカルガイド 特別版 北海道新聞医療情報特集

# メディカルガイド & マイタウン・マイドクター

## 医療機関の皆様、医療広告を大募集しております!

メディカルガイド 北海道新聞 毎週水曜日夕刊掲載

新聞とWEBのミックスで貴院と患者様をつなぎます。医療関連記事とのタイアップで注目度もアップ!!

新聞 メディカルガイド

WEB クリニック北海道 http://www.clinic-hokkaido.com/

WEB版は掲載無料!  
月4回掲載、さらにWebと連動で注目度200%!!

【新聞版】  
●発行日/北海道新聞 毎週水曜日夕刊(曜日は変更する場合がございます)  
●掲載範囲/札幌市内近郊版(札幌市内全域・石狩市・北広島市他)  
●体 裁/本紙一色刷り(スミ)  
●掲載回数/毎月4回(5週目の最終水曜日は掲載なし)

【WEB版】  
メディカルガイドWEB版、クリニック北海道です。掲載内容はメディカルガイドに順じます。道内医療機関の検索、医療記事のバックナンバーもご覧いただけます。

メディカルガイド 特別版 北海道新聞医療情報特集

# マイタウン・マイドクター

年2回の病院特集企画。札幌市内各エリアの掲載で見やすくわかりやすい!

全体で約30万部の発行! 保存版でいつでも見られる!

カラー掲載でマップをつけて病院の場所をわかりやすく表示!

春・秋 年2回発行!

～お申し込み・お問い合わせは～  
株式会社 英広社「メディカルガイド」または「マイタウン・マイドクター」係まで  
札幌市中央区南3条西5丁目1番地1  
TEL.011-261-4350 FAX.011-261-7886

さっぽろ駅前内科・内視鏡クリニック

当院では大腸検査において、挿入技術の工夫と努力によって痛みや不快感をほとんど感じさせない検査を目指しております

胃カメラ・大腸カメラ 夜間診療 土日診療

●ピロリ菌除菌治療 ●痔の治療 ●高血圧症・糖尿病・高脂血症・高尿酸血症の治療 ●禁煙治療

第27ビッグ札幌北スカイビル4F  
札幌駅北口徒歩3分・西口徒歩1分

札幌市北区北7条西5丁目7番1号  
第27ビッグ札幌北スカイビル4F  
TEL:011-700-1110